

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 1 枚)

氏 名 辰 川 志 郎

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1			物価高騰対応水道料金基本料金免除事業について 物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するため、水道料金の基本料金を令和 7 年 12 月から令和 8 年 2 月分までの 3 か月間免除するとのことであり、その全体事業費は、1 億 5,460 万円とのことであるが、市民には、減免制度の程度などがイメージしにくいのではないかと考える。今後、どのように広報などを行っていく予定であるのか示せ。	
2			エアモビリティ産業創出事業について 9 月補正予算で、旧緑丘小学校の空調設備、屋内消火栓、電気設備、内装改修などの施設整備に 440 万円の実施設設計費を計上するなど、ドローンや空飛ぶクルマなど空の産業集積に向けた加賀市次世代エアモビリティコンソーシアムを中心とする産学官の研究開発活動拠点の構築が進められている。 このコンソーシアムに参加する主な関係団体を示せ。 また、加賀市にとってどれだけの経済効果があるの見込んでいるのか。	
3			橋梁長寿命化対策事業について 今回の補正予算において、橋梁長寿命化対策事業として、山中温泉の風吹橋、黒谷橋の修繕事業費 1 億 1,184 万円が計上されている。 一方で、本年度は、令和 5 年 12 月定例会において質問していた大聖寺新町と大聖寺福田町の間の旧大聖寺川にかかる福田橋の修繕事業に関する工事費が当初予算に計上されているにもかかわらず、未だ着工されていないようであるが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。	
4			宝塚医療大学観光学部について 来年度、市内に開校する予定であると聞くと、「医療と観光との関係がよくわからない」などという市民からの声を聞く。 あらためて、なぜ、宝塚医療大学観光学部を誘致することになったのか、開設場所、学生数、教授数、職員数を示すとともに、今後、どのように「加賀キャンパス」をアピールすることとしているのかについても示せ。	